

The banner features large, stylized Japanese characters 'はるか' in brown on the left. A speech bubble above them contains the text '些細な困りごとから もしもの時まで'. The background is a warm autumn color with falling leaves. On the right, there's a box containing information for 'Funeral space 墓送空間 はるか'.

令和4年晚秋号

家族葬専門ホール

Funeral space
葬送空間

運営 武藏浦和会館

0120-03-0653

〒336-0022 さいたま市南区白幡 5-4-16
FAX 048-864-0649 <http://www.sougisha.co.jp>

葬送空間はるか 検索

注目TOPIC

人形供養祭●今年も11月10日に開催！
スタッフ紹介●前職は〇〇 柴山祥一さん編
お店紹介●一石三鳥の宅配弁当ビジネス
別紙●はるかイキイキ通信 vol.4

注目TOPIC

人形供養祭●今年も11月10日に開催！

スタッフ紹介●前職は〇〇 柴山祥一さん編

お店紹介●一石三鳥の宅配弁当ビジネス

別紙●はるかイキイキ通信 vol.4

また、春号でも少しお伝えしましたが、弊社は、今年**30周年**を迎えることとなりました。そこで、長年の感謝を込めて、年末までの間「はるかメンバーズ」の入会金無料キャンペーんを行つています。それでは最後まで是非お付き合い下さいませ。（小杉）



10月の秋

皆さまお待たせしました。
情報誌はるか晩秋号をお届けいたします。

はるかの代表を務めております小林です 大変お待たせしました。情報誌をお届けさせて頂きます。

今年は記録的な酷暑でしたね。クーラー無しではとても過ごせないほどの、危険な暑さが何日も続きました。

気になつて調べてみると、今年の夏は、一八九八年に統計を取り始めてから、なんと歴代2番目の暑さだったそうです。どうりで暑かったわけですね。（ちなみに一位は二〇一〇年なんだと思います）

『○○の秋』

10月に入りようやく過ごしやすくなりましたね。

秋と言えば『食欲』『スポーツ』『芸術』『読書』などなど：いろいろな楽しみがありますよね。四季のある日本だからこそ感じる、束の間の過ごしやすい季節の到来です。

私は、散歩がてら公園に出かけ、疲れたらベンチに腰掛け、木漏れ日の中『読書』にふけるのが大好きです。皆さんは、どのような『秋』を過ごされていらっしゃるでしょうか？



前回のミニコラムで、栄養バランスのご飯の話題をお届けしましたが、日々の献立を考えるだけでも一苦労ですよ。そんな皆様にお役立ちなお話が：ご高齢の方に向けた宅配弁当サービスを提供している「**ライフデリ**」を紹介させていただきます。

「**ライフデリ**」では、本当は美味しいのに、曲がっていたり大きさが規格に合わず、買いたくても買えない『規格外』のお野菜を、国内の契約農家から全量買い取り使用しているんだそうです。その結果、コストカットに繋がり、低価格なお弁当をお客様に提供することができるのです。生産者も真心込めて育てた野菜を廃棄せずに食べて貰えるから嬉しいですし、フレードロスも減って環境にも優しい：まさに**一石二鳥**！みんなが幸せになるビジネスモデルなんですね。

おかげの種類は700種以上、糖尿病や腎臓病など持病がある方や、アルギーのある方、刻み食、お粥にも対応しています。





更に「お肉は嫌い」という食の好みまであるいは「魚は苦手」オーダー可能というきめ細やかなサービスを提供してくれるんですって。有り難いですね。さらに、安否確認も無料でお願いできるのだとか：まさに痒い所に手が届くサービスですね。



更に「お肉は嫌い」あるいは「魚は苦手」という食の好みまでオーダー可能というきめ細やかなサービスを提供してくれるんですって。有り難いですね。さらに、安否確認も無料でお願いできるのだとか：まさに痒い所に手が届くサービスですね。

実は今回ご紹介させて頂いた「ライフデリ」の事業を、さいたま市南区・桜区・緑区エリアで新たに始められたのが、はるかとも深いご縁のある、返礼品会社を営む松木社長。かれこれ20年以上のお付き合いになります。

松木社長は穏やかで、とっても温かい人柄。ご高齢の方からの信頼も厚くて、配達の時間に余裕がある時は、お喋りに花が咲くこともあるんだとか：健康的で美味しい日替わり弁当を届けていただき中で、人と人との交流が生まれる。家事の中でも料理は負担が大きいので、週に一度でもお休みの日があれば嬉しいですよね。

初回のご注文は1食無料でお試し出来るそうですので、気軽に試食されてはいかがですか？

今回、3つ折りパンフを同封させて頂きました。ご興味のある方は是非！

【編集後記】どうやつたら幸せに亡くなることができるんでしょうか？そんなことを考えて、誰にも答えはわかりませんよね。では、もし、自分がガンだとわかったら？▼最期まで自分らしく過ごすための3つの条件①「最期の最期まで抗がん剤治療を続ける」人ではないこと②だんだん食べられなくなってきても高力ロリー輸液をやっていないこと③十分な緩和ケアを受けていること▼敬愛する長尾先生の著書『ガンは人生を二度生きられる』の中で伝えていきます。後悔しないためには医者任せ、家族任せではなく、自分で治療の主導権・選択権を持つこと。抗がん剤についても「やるか、やらないか」よりも「やめ時」が大事だそうです。▼十分な緩和ケアを受けて痛みをしつかり取り除いてもらい、あとは自然に任せること。心の痛みを和らげるのは、家族や友人たちとの会話。「ありがとう」は、最高の薬。医師が処方するどんな薬よりも、心身をラクにして長生きする効果があるそうです。▼私がガンになつたら：病気になつたのは仕方ない（と思えるかな？）長生きよりも苦しくないように穏やかな最期を希望したいです。どこのガンを患うかで病状も痛みも変わりますから一概には言えませんけどね。願わくば住み慣れた我が家で好きなレモンサワーを嗜みながら、自分の好きなように過ごしたい、そんな最終章のシナリオを考えています。実現のためには万全な緩和ケアが出来る在宅医と出会うこと。▼「死」を受け入れることは人生最大の難問でしょうね。元気で長生きが理想だけど、病気になつても、ならなきとも、大切なのは『今日一日、今をどう楽しく生きるかを考えること』ですね。実りの秋を大いに満喫しましょう。最後までお付き合いいただきありがとうございました。古屋

30周年記念

『お友達紹介キャンペーン』

おかげ様で、武蔵浦和会館は創立30年を迎えることができました。

「葬送空間はるか」にリニューアルしてからも早いもので10年あまり。ご自宅のリビングのように和やかに過ごして頂きたい。深い悲しみの中でも、ご家族に癒しがありますようにという願いが込められています。

お集りの皆さまが故人様を偲び、語らう温かい時間と空間。煩わしいことにどうやらわれず、心ゆくまでゆっくりお別れをする。これが「はるかの家族葬」です。

創立以来『地域と共に』をモットーとしてきました。日常の困りごとは「はるかイキイキくらぶ」、もしもの時は「はるかの家族葬」がサポートいたします。さて、この度、創立30周年を記念した『お友達紹介キャンペー』ンを開催することになりました。ご紹介いただいたお友達の方は、今なら無料ではるかメンバーズにご入会頂けます。また、ご紹介くださったメンバーズさんは、心ばかりのお礼をご用意しております。地域の特に高齢者の皆様のお役立ち企業を目指している「はるか」。この機会に「お友達をご紹介」いただけましたら嬉しい限りです。スタッフ一同、新たなご縁を紡いでいけたらと楽しみにお待ちしております。

はるかスタッフ紹介『柴山祥一』さん。

前職は〇〇。入社のきっかけ？現在の住まいは…



いつもと趣向を変え、今回のコラムは、昨年の7月からはるかスタッフの仲間入りをした、柴山祥一さんにインタビュー。聞き手は小杉が務めさせて頂きます。柴山さんは、昭和54年生まれの43歳。趣味はスポーツ観戦（主に野球）とお酒。はるかのスタッフはお酒好きが多いのでピッタリの職場ですね（笑）実は私と出身大学も一緒なんですが、家族は奥さんと娘さんの3人で千葉に暮らしています。えっ！千葉に住んでるの！？その後のことなどをうなづくか悩んでいました。そんな折に、たまたま妻が勤めていた会社の社長さんから『私がとても良いな』と思つ会社が有るんだけど…と紹介して頂いたのが、はるかでした。

「前職は小学校の教員だったのですが、朝から夜遅くまで業務があり、生まれたばかりの娘との時間が取れずに悩んでいました。さらに同時期に体調を崩してしまいました。その後のことをどうするか悩んでいました。

そんな折に、たまたま妻が勤めていた会社の社長さんから『私がとても良いな』と思つ会社が有るんだけど…と紹介して頂いたのが、はるかでした。」

葬儀社に勤めてみていかがですか？

「実際にはるかに勤務させて頂いて感じた事は、大切な方が亡くなつた際に、最後のお手伝いをさせて頂く、とても責任のある仕事だと思います。また、ご家族の方からとても感謝をして頂ける事に、やりがいや自分自身の励みになっています。今後も、はるかに頼んで良かったと思って頂けるよう、担当者として日々成長していきたいです」と、柴山さんらしい生真面目な返答（笑）

入社して、現在の率直な感想は？

「そうですね。仕事のやりがいもですが、家族との時間がゆっくり取れるようになります。えっ！千葉に住んでるの！？その後のことをどうするか悩んでいました。そんな折に、たまたま妻が勤めていた会社の社長さんから『私がとても良いな』と思つ会社が有るんだけど…と紹介して頂いたのが、はるかでした。」

千葉に引っ越した経緯は？

「実は知人の紹介で今年8月に思い切って、引っ越しをしました。妻と3歳になる娘と3人で、その家を見に行つた際、広い庭を楽しんだ。それに駆け回る姿を見て即決してしまいました。おそらく、前職のままだつたら、決断できなかつたかったかもしれません。この新居なんですが、築年数は大分経つて

つどい場はるか12月の日程を一部変更させていただきます。
健康麻雀
14日(水)→15日(木)10時~12時
ランチ会
25日(日)→21日(水)11時半~13時

お申込み・お問い合わせは
つどい場専用ダイヤル（9時~17時）
048-864-0014

※イベントスケジュールは、感染状況により急遽中止となる事もございます。予めご了承ください。



いるのですが、広さはな・な・なくんと百坪もあるんです！今年の夏は子供用プールを購入し、庭をいっぱい使って遊ばせる事が出来て大満足でした。また新たな趣味として、家庭菜園も始める予定です。

ただ、良い事ばかりではなくて、通勤時間は以前の3倍。さらに、お風呂やトイしなどもそのままでは使えず、断腸の思いでリフォームしました。楽しみにしてる晩酌のビルも発泡酒になりそうです（笑）

今後はいつも美味しい料理を作ってくれる妻の為に、『キッキンをリフォームしてあげたい！』というのが当面の目標です。

とにかく家族想いで、超がつくほど真面目な柴山さん。千葉に引っ越すと最初に聞いた時は、私も驚きました。少し天然な所もありますが、この先も末永くはるかで活躍してくれる気持ちは忘れずに、ご遺族のために仕事に励んで行きたいと思います。」

最後に読者の皆さんにメッセージを！

「今こうしてやりがいのある仕事と、家族との時間を両立して暮らせているのも、お客様やメンバーズの皆さん、そして一緒に働くいるはるかスタッフのおかげです。今後とも感謝の気持ちを忘れずに、ご遺族のために仕事に励んで行きたいと思います。」